



# Earth Rise

No. 20

平成 26 年 11 月 10 日(月) 発行

矢掛高校の活動や地域の様子・E S D  
等について発信していきます。

岡山県立矢掛高等学校長 川上公一

Associated  
Schools Project  
Network (ASPnet)



## 宿場まつり大名行列 無事終了

矢掛は江戸時代、山陽道の宿場町として栄え、本陣脇本陣をはじめとする宿場集落を形成していました。現在でも当時の町並みを色濃く残しており、全国で唯一、本陣と脇本陣の両方が国指定重要文化財として現存しています。

毎年 11 月第二日曜日、その矢掛の町並みを舞台に、大名行列を再現されます。約 80 名で編成された往時の姿そのままの絢爛豪華な大名行列が、街道を練り歩き、人々を江戸時代へとタイムスリップさせてくれます。

その矢掛で大名行列が始まったのは 1976 年の豪雨災害がきっかけでした。矢掛中心部の大半が床上浸水するという甚大な被害を受け、その復興の足がかりとして同年 11 月に「矢掛の商工まつり」として大名行列がスタートしました。現在の大名行列は地元の商工会・観光協会を主体に企画運営され、行列参加者は商工会青年部・県立矢掛高校生徒・町役場や JA の職員など多彩なメンバーで構成されています。また、それらに所属する外国人も参加して、矢掛町総力結集の協力態勢です。宿場まつりは今年で第 39 回を迎え、江戸の風情を楽しむ約 3 万 5 千人もの人で溢れます。

矢掛高校は、学校をあげて宿場まつりを応援します。大名行列への参加だけではなく、矢掛高校ブースを中国銀行前商店街駐車場に設営し、本部放送係、「福祉面」の販売、お茶席などを行いました。地域ビジネス科第 2 学年の授業の中で開発した矢掛特産のアスパラガスを使ったパスタも販売しました。この商品は「手打ちうどん庵 〜ioRi〜」様のご協力を得て製作した新商品です、金曜日には 12 年生全員で、町内を清掃したり、まつり終了後には、生徒会が矢掛中学校と協力してゴミひろいをしたりしました。

矢掛高校は、地域と共に歩む開かれた学校づくりをめざしています。「地域を支え、地域に支えられる学校」として、様々な活動を行っています。社会人になったときに「地域を支える人材」となるような人材育成をすることが本校の使命だと考えているからです。ところが、今年も雨・・・これで 3 年連続です。雨の中にも関わらず、大勢の生徒がそれぞれの持ち場で精一杯がんばってくれました。



最後の写真は 3 年前、私出演したときのものです。